

平成30年8月6日(月) 12984号



株式会社 日刊金属

本 社 〒530-0043
 大阪市北区天満2丁目12番3号
 ヴィレッジリバー南森町3階E号
 TEL (06) 6353-7831 (代表)
 FAX (06) 6353-7832

東京支社 〒140-0001
 東京都品川区北品川1丁目9番7号
 トッブルーム品川1015
 TEL (03) 6869-9983 (代表)
 EMail info@nikkankinzoku.co.jp
 WebPage https://nikkankinzoku.co.jp/

購読料 12ヵ月 72,000円(税別) データ12ヵ月 84,000円(税別)
 6ヵ月 36,000円(税別) 配信料 6ヵ月 42,000円(税別)

アルミ二次合金

6月生産動態統計

10万トン台の水準回復

経済産業省が発表した2018年6月の生産動態統計(速報値)によると、非鉄金属では、アルミニウム二次合金地金・アルミニウムダイカストの生産数量が堅調に推移した。

電気銅地金の生産数量は13万1,950トンで、前年同月比2.6%増加。一方、前月比では7.4%減少した。亜鉛地金は4万3,487トンで、前月比は9.7%のマイナスだったものの、前年同月比では2.4%それぞれ増加した。

アルミニウム合金は、前月に比べ13.8%減の3,249トン。急増した5月からマイナスに転じた。前年同月比でも13.0%のマイナスだった。アルミ二次合金地金は前年同月比2.4%増の10万3,909トン。前月比でも11.1%増加し、10万トンの水準を回復した。

鋳物では、アルミニウム鋳物が3万9,107トンで前

年同月比1.9%増加、アルミニウムダイカストは8万9,338トンで同1.5%増加し、引き続き堅固い状況。銅・銅合金鋳物は1.7%減の6,465トンだった

同省のまとめでは、伸銅品は前年同月比3.3%減の7万0,390トン。アルミニウム圧延品の板製品は5.2%減の10万9,884トン、押出製品は2.5%減の6万6,114トン、箔は4.5%増の1万0,549トンとなっている。

電線・ケーブルでは、巻線が前年同月比2.5%減の1万2,325トン。電力用電線・ケーブルは、3.9%減の1万8,260トンだった。通信用ケーブル光ファイバー製品の生産数量は115万9,580キロメートルコアで、前月比46.4%の大幅増を記録、前年同月比でも4.1%のプラスだった。

18年6月生産動態統計(速報値)

品目	生産(トン)	前年同月比(%)
電気銅	131,950	2.6
亜鉛	43,487	2.4
伸銅品	70,390	▲3.3
アルミニウム圧延品・板	109,884	▲5.2
アルミニウム圧延品・押出	66,114	▲2.5
アルミニウム箔	10,549	4.5
アルミニウム合金地金	3,249	▲13.0
アルミニウム二次合金地金	103,909	2.4
アルミニウム鋳物	39,107	1.9
アルミニウムダイカスト	89,338	1.5
巻線	12,325	▲2.5
電力用電線・ケーブル	18,260	▲3.9
通信用ケーブル 光ファイバー製品(※)	1,159,580	4.1

※通信用ケーブル光ファイバー製品の単位はキロメートルコア(kmc)

▲はマイナス

平成30年7月豪雨

竹原精錬所が復旧

三井金属

三井金属鉱業は、7月に西日本を襲った平成30年7月豪雨で被害を受けた竹原精錬所(広島県竹原市)の全生産ラインが復旧し、操業を再開したと発表した。

今回の豪雨では、竹原精錬所の工場が冠水し、一部の生産ラインがストップした。三井金属は緊急対策本部を設置、グループ内の各社・事業所から応援体制を組んで復旧作業に当たった。

排水処理が完了した生産ラインから順次操業再開に向けた準備を進め、7月末に全設備が復旧した。

豪雨による連結業績への影響について、同社は現時点で不明としている。

日刊金属

購読料 12ヵ月 72,000円(税別)
 6ヵ月 36,000円(税別)

外電配信料 12ヵ月 84,000円(税別)
 6ヵ月 42,000円(税別)

住友電工第1四半期連結決算

住友電気工業の2019年3月期第1四半期の連結決算は、売上高が前年同期比7.3%増の7,587億円、営業利益・経常利益とも増益、特別利益要因の欠落で、当期純利益は4.2%減少した。ワイヤーハーネスが好調、電力ケーブルは銅価格上昇の影響もあり増収だった。

売上高	7,586.88
	7.3
営業利益	313.45
	12.8
経常利益	366.34
	8.3
当期純利益	208.65
	▲4.2

下段は前年同期比(%)、▲はマイナス

大紀アルミニウム工業所第1四半期決算

大紀アルミニウム工業所の2019年3月期第1四半期決算は、売上高・各利益項目とも対前年比で2桁増だった。自動車メーカーの生産回復を受け、製品販売が堅調に推移。利益面では製品価格と販売価格との差が押し上げに寄与した。

売上高	508.16
	17.7
営業利益	18.70
	14.5
経常利益	17.81
	13.8
当期純利益	12.88
	17.3

下段は前年同期比(%)

銅・非鉄金属地金全般**株式会社 オカモト**

代表取締役 岡本宜三

大阪府堺市美原区黒山 696

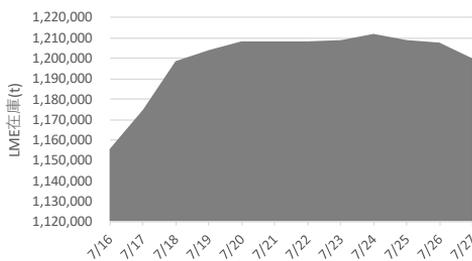
☎ 072-361-2264 fax 072-361-2265

おしらせ

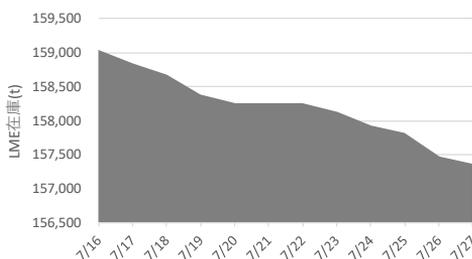
弊社(株)日刊金属は8月13~16日を夏季休業といたします。また、小紙『日刊金属』は8月13日付けから8月16日付けまでが休刊になります。なお、朝の外電は通常通り配信いたします。宜しくお願いいたします。

LME認定倉庫在庫量推移 2018年7月16日~7月27日(現地)

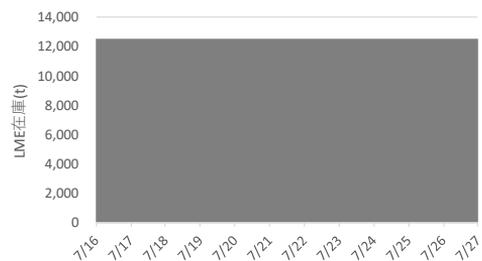
アルミ



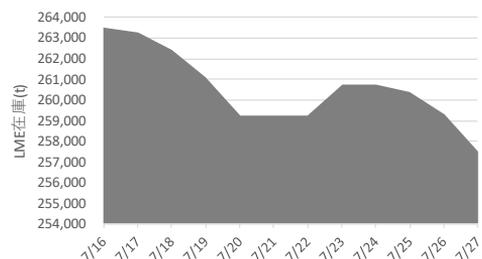
北米特殊



アルミ合金



ニッケル





豪：日本の準天頂衛星システム「みちびき」、豪州の鉱業部門も恩恵の可能性

2018年7月27日付の地元メディアによると、豪Curtin大学の調査により、日本の準天頂衛星システム「みちびき」が、豪州特にWA州における位置情報能力の強化にも貢献することが明らかとなった。「みちびき」の利用によりWA州でもcmレベルの位置情報精度が得られるため、鉱業や他の産業においても大きな利益が得られる可能性が高い。Curtin大学の地球惑星科学部門主任研究員のPeter Teunissen氏によると、位置情報の精度と信頼性の向上により、露天掘り操業や地質調査、水文学、自動操業ナビゲーション、系統的健康モニタリング、地盤沈下・地殻変動モニタリングなどの分野で大きな利益が得られる可能性が高く、衛星からの信号を利用するその他全ての産業、例えば天気予報や気候変動・宇宙天気予報などにも良い影響があるであろう。これらの利益は豪州全体で期待できるが、特にWA州は「みちびき」や

インドが開発したNavICシステムの衛星軌道下に位置しており、これらを組み合わせることで更なる精度と信頼性の向上が期待できる、としている。

新 断 新ドライ 高価買取します。

(株)エイワ産業

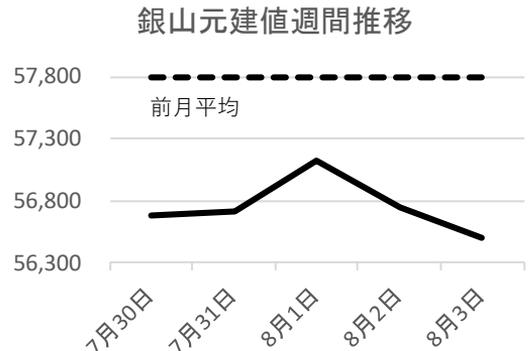
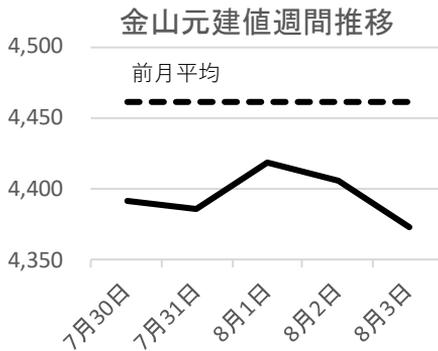
〒577-0536 東大阪市洪川町 2-2-2

☎ 06-7891-8180

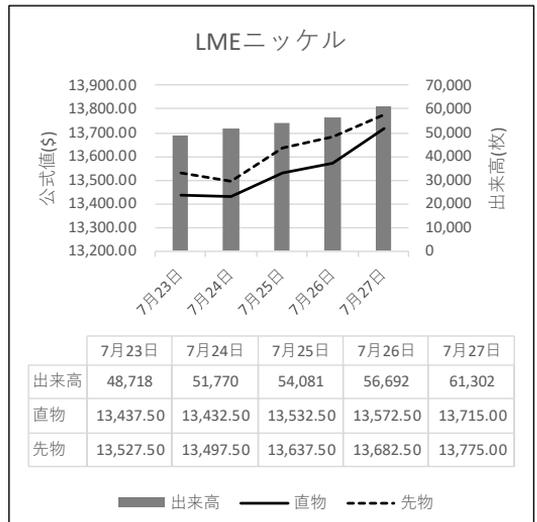
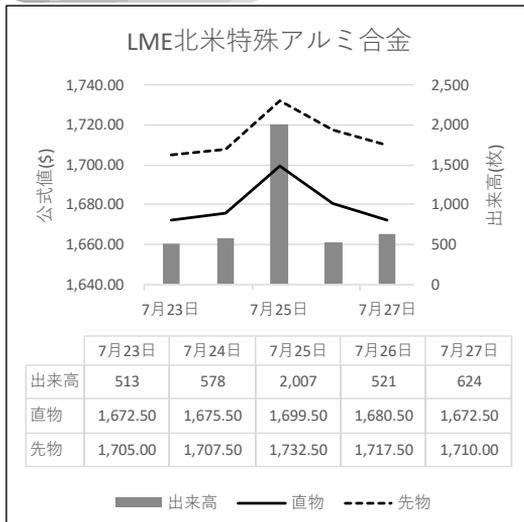
FAX 06-7891-8170

金銀山元建値週間推移

7月30日～8月3日



LME公式値週間推移 7月23日～7月27日 (現地)





銅建値2万円引き下げ73万円

8月の月内建値平均は73万1,700円

JX金属は3日、電気銅建値を2万円引き下げ73万円とすると発表し、同日から実施した。2018年8月の月内建値平均は73万1,700円。

3日入電のLME銅相場セツルメントは6,063.00ドル、同日の東京外国為替市場の米ドルTTSレートは112.81円。この値で換算した採算価格は68万4,000円。建値と採算価格から見た諸掛りは4万6,000円となる。

直近6か月の建値推移は次の通り(キロ当たり円、カッコ内は改訂日)。

2018年

□2月	810(1) 820(6) 790(8) 800(15)	平均801.5
□3月	780(1) 760(9) 780(14) 770(19) 750(23) 740(28)	平均765.7
□4月	760(2) 770(6) 790(11) 770(13) 790(19) 800(25)	平均778.5
□5月	800(1) 790(7) 800(14) 810(23) 790(29)	平均797.8
□6月	780(1) 810(5) 840(7) 810(19) 790(22) 780(27)	平均810.0
□7月	780(2) 750(5) 730(12) 720(20) 730(25)	平均740.4
□8月	750(1) 730(3)	平均731.7



黄銅削粉12円引き下げ540円に

関西の黄銅棒大手N社と三菱伸銅は3日、黄銅削粉の買値を12円引き下げ540円とすると発表した。



JX金属の山行故銅買値7月確定値は6万円安の54万円

JX金属は1日、7月の山行故銅買値(99%ベース)の確定値を、前月より6万円安の54万円と発表した。直近6か月の買値確定値は次の通り。

2018年

□2月	59万円	□3月	56万円
□4月	57万円	□5月	58万円
□6月	60万円	□7月	54万円

故銅市況

3日入電の海外相場は、LME(ロンドン金属取引所)銅相場の直物前場売値が、前日の6,137.00ドルより74.00ドル安の6,063.00ドル。この日の直物後場買値は、前日の6,140.00ドルより57.00ドル安の6,083.00ドル。カーブ取引は前日の6,171.00ドル～6,172.00ドルより31.50ドル～32.00

ドル安の6,139.50ドル～6,140.00ドル。COMEX(ニューヨーク商品取引所)の銅相場(8月限)は、前日の273.50セントより0.80セント安の272.70セント。SHFE(上海先物取引所)の銅相場(8月限)は、前日の4万9,820元より730元安の4万9,090元。

3日の東京為替市場TTSレートは、前日の112.73円より0.08円の円安ドル高の1ドル=112.81円。NYカーブLME先物比は28.50ドル高。3日に入電したLME銅相場のセツルメントは6,063.00ドル。この値と3日の東京外国為替市場USドルTTSレートから計算した国内採算値は、前日の73万1,000円より8,000円安の72万3,000円。この日、電気銅建値は73万円に引き下げられた。

故銅直納問屋筋の平均値頃感(単位は千円)

直納問屋筋によるロット物(5トン前後)の平均的な値頃感は次の通り。

ピカ線が595～600、上銅新のうちタフピッチや無酸素銅などは576～581、並銅は515～520、込銅(高品位=約97%)は475、セパは465～470。コーペルは要り用筋で456、それ以外は448ほど。黄銅削粉も同様に要り用筋451、それ以外434～459どころの値頃。並青銅鋳物削粉は447～452どころ。

小口市中相場(1トン前後)では、ピカ線が598～603、上銅新くすが565～585、普通上銅が532～542、2号銅線が538～548、並銅が503～504、込銅(90-93%)が462～429、下銅が308～358、セパが432～442、コーペルが388～428、黄銅棒地が444～449、黄銅削粉が392～439、黄銅ラジが343～351、交叉ラジが325～336、黄銅銅鋳物が362～369、送りが190～205、上青銅鋳物が457～473、並青銅鋳物が449～462、上青銅鋳物削粉が454～473、並青銅鋳物削粉が447～451どころ。

電気亜鉛・蒸留亜鉛販売
亜鉛ドロス・滓買入

大阪亜鉛工業株式会社

取締役社長 林 昭宏

本社・工場 〒555-0001 大阪市西淀川区佃 4-14-3
電話 06-6471-2531～5
FAX 06-6471-5781
東京営業所 〒131-0043 東京都墨田区立花 2-4-5
電話 03-3618-2351～2

為替動向

3日午前の東京外国為替市場で円相場はもみ合いとなった。午前9時の気配値は、1ドル=111.69円~111.72円、前日の17時時点に比べ0.08円の円安・ドル高。

2日のニューヨーク外国為替市場は、前日比0.08円の円高・ドル安、1ドル=111.59円~111.69円で取引を終了した。

米トランプ政権が2,000億ドル相当の中国製品を対象に追加関税の税率を10%から25%に引き上げる方向で検討すると発表した。ニューヨーク市場では、米中摩擦への警戒感が引き続き意識され、低リスク通貨と

される円を買う動きが相次いだ。米長期金利の低下も日米金利差縮小観測からの円買いを誘った。一方、米株式市場では、大幅に下げていたダウ工業株30種平均が下げ幅を縮小、他の指数も堅調に推移したことから、リスク選好を確認したドルの買い戻しも入り、円相場は小幅高となった。ニューヨーク市場のドル円レートのレンジは、111.31円~111.72円だった。

週末を控えた3日の東京市場では、東京株式市場で日経平均株価が反発して始まったことでリスク選好の円売りが出た。国内輸入企業による実需の円売り・ドル買いも入っているもよう。



**LME銅は続落 エスコンディーマ銅山スト突入も米中貿易摩擦が地合圧迫
カーブ取引も続落 COMEX銅相場も続落 SHFE銅相場は反落
LME非鉄相場は概して弱地合 米中貿易摩擦の先鋭化に市場警戒
ニッケルは500ドル超下落で200日移動平均下抜け 鉛は反発**

3日入電の海外相場は、銅の直物が、LME（ロンドン金属取引所）の公式値ベースで、前日の6,136.75ドルより74.00ドル安の6,062.75ドル。3か月物も、前日の6,161.00ドルより70.50ドル安の6,090.50ドル。LME公認倉庫の銅在庫量は、前日の25万2,000トンより約1,000トン減のおよそ25万1,000トン。COMEX（ニューヨーク商品取引所）の銅相場（8月限）は、前日の273.50セントより0.80セント安の272.70セント。カーブ取引は、前日の6,171.00ドル~6,172.00ドルより31.50ドル~32.00ドル安の6,139.50ドル~6,140.00ドル。SHFE（上海先物取引所）の銅相場（8月限）は、前日の4万9,820元より730元安の4万9,090元。

錫は続落

LME錫相場の直物は、前日の1万9,972.50ドルより197.50ドル安の1万9,775.00ドル。3か月物も、前日の1万9,862.50ドルより185.00ドル安の1万9,677.50ドル。

鉛は反発

LME鉛相場の直物は、前日の2,115.25ドルより27.25ドル高の2,142.50ドル。3か月物も、前日の2,126.00ドルより28.00ドル高の2,154.00ドル。

亜鉛はまちまち

LME亜鉛相場の直物は、前日の2,627.50ドルより11.00ドル安の2,616.50ドル。3か月物も、前日の2,566.75ドルより0.50ドル高の2,567.25ドル。

アルミは続落 アルミ合金はまちまち 北米特殊アルミ合金は反落

LMEアルミ相場の直物は、前日の2,035.50ドルより13.00ドル安の2,022.50ドル。3か月物も、前日の

2,057.25ドルより10.75ドル安の2,046.50ドル。LMEアルミ合金相場の直物は、前日の1,695.00ドルより22.50ドル安の1,672.50ドル。3か月物も、横ばいの1,737.50ドル。LME北米特殊アルミ合金相場の直物は、前日の1,660.00ドルより70.00ドル安の1,590.00ドル。3か月物も、前日の1,695.00ドルより15.00ドル安の1,680.00ドル。LME公認倉庫のアルミニウム在庫量は、前日のおよそ119万5,000トンより約3,000トン減のおよそ119万2,000トン。

ニッケルは下落

LMEニッケル相場の直物は、前日の13,777.50ドルより555.00ドル安の13,222.50ドル。3か月物も、前日の13,860.00ドルより532.50ドル安の13,327.50ドル。

アルミ二次合金メーカー買値実勢値

1トン程度・置場・現金・キロ当たり円

関東地区(7月後半)

2S=200円~208円、63S=197円~201円、アルミホイール(1P)=192円~197円、ビス付サッシ=146円~150円、エンジンコロ=152円~154円、込合金(機械鋳物)=148円~150円、缶プレス(ソフト)=115円~130円。

関西地区(7月後半)

2S=195円~203円、63S=193円~197円、52S=205円~209円、印刷版=198円~203円、アルミホイール(1P)=181円~186円、ベースメタル=205円~210円、機械鋳物=152円~157円、ダライ粉=127円~129円、ビス付サッシ=147円~152円、缶プレス=133円~138円。

LME公式値(単位:ドル) / 8月2日(現地)

	銅	錫	鉛	亜鉛	アルミ	アルミ合金	北米特殊アルミ合金	ニッケル
直物	公式値	6,062.75	19,775.00	2,142.50	2,616.50	2,022.50	1,672.50	13,222.50
	前営業日比	▲ 74.00	▲ 197.50	27.25	▲ 11.00	▲ 13.00	▲ 22.50	▲ 555.00
先物	公式値	6,090.50	19,677.50	2,154.00	2,567.25	2,046.50	1,737.50	13,327.50
	前営業日比	▲ 70.50	▲ 185.00	28.00	0.50	▲ 10.75	0.00	▲ 532.50

海外非鉄金属相場

(8月3日 入電・現地 8月2日)

1ロット=銅、鉛、亜鉛、アルミは25トン
錫5トン、アルミ合金20トン、ニッケル6トン
セツルメント=現物・前場・売

Table with columns: Item, 前買, 場売, 後買, 場売. Rows include 銅 A G, 錫 H G, 鉛, 亜鉛 S H G, アルミ H G, アルミ合金, 北米特殊アルミ合金, ニッケル.

Table for NY COMEX market with columns: Item, 銅HG, 金, 銀, プラチナ, パラジウム. Includes text: 出来高: 1ロットは12.5ショート・トン, 銅はポンド当たりセント...

Table for Free Market and LME/COMEX/SHANGHAI. Includes sections: フリー・マーケット, ■米国生産者価格, ■NY相場, ■ロンドン相場(ドル), ■K L T M 銅 (Mドル/キロ, 出来高トン), LME在庫(トン), コメックス銅在庫(トン), 上海在庫(トン), NYカーブ.

Table for Shanghai Market (上海相場) with columns: Item, 銅, アルミ, 亜鉛, 鉛. Includes text: トン当たり元、1ロット=5トン・増値税込

Table for Procurement Prices (採算価格) with columns: Item, LME (円ベース/キロ), COMEX, 上海 (元・円(前日) = 16.67). Includes text: フレート諸チャージ込み入荷ベース(上海は前日の元・円レートにて換算)

非鉄金属製品相場

(8月3日調べ)

(キロ当たり) ◎上げ ◆下げ

伸銅品	大阪	東京	鉛亜鉛製品	大阪	東京
銅小板2.0ミリ	◆ 950	◆ 990	亜鉛板0.3×3×7	620	620
建築用0.3ミリ	◆ 960	◆ 1000	印刷用亜鉛板トッパン用	800	800
銅大板2×1×2	◆ 1120	◆ 1190	給水管13ミリ	310	310
銅管(ベース)	◆ 1140	◆ 1170	鉛板1.5ミリ	340	340
水道用管(m当たり)13ミリ	◆ 820	◆ 850	鉛線3ミリ	465	475
銅棒25ミリ	◆ 930	◆ 980	軽圧品(仲値)		
銅条1.5×100	◆ 940	◆ 980	アルミ箔0.007ミリ	945	1005
銅線0.9ミリ	◆ 1010	◆ 1050	〃 小板1ミリ	520	510
銅帯6×50	◆ 930	◆ 990	〃 大板1ミリ	510	500
銅平角線	◆ 1210	◆ 1220	〃 5052板	650	550
黄銅小板2.0ミリ	◆ 820	◆ 850	〃 5083板	665	565
〃 0.3ミリ	◆ 845	◆ 865	〃 2017板	1035	925
黄銅大板2×1×2	1000	◆ 1060	〃 線3ミリ	645	560
黄銅管	◆ 1370	◆ 1330	〃 快削棒25ミリ	785	780
復水器用黄銅管	◆ 1365	◆ 1385	〃 合金棒25ミリ(17S)	790	760
黄銅棒快削25ミリ	◆ 680	◆ 700	〃 合金棒25ミリ(56S)	770	720
六角棒	◆ 710	◆ 730	貴金属(一般小口向け)		
四角棒	◆ 740	◆ 760	白金(グラム)	◎ 3300	
鍛造用	◆ 720	◆ 740	パラジウム(グラム)	3655	
ネーパル	◆ 820	◆ 840	金(グラム)	◆ 4743	合金鉄
高力	◆ 820	◆ 840	銀(キログラム)	◆ 62530	6月輸入単価(CIF)
黄銅線6ミリ	1025	1075	レアメタル輸入価格		
黄銅平角線ロール仕上	1230	1290	6月通関(CIF)		
黄銅条1.5×100	◆ 810	◆ 845	金属ケイ素(99.99%未満)	253	フェロマンガ2%以上炭素含有
リン青銅板一般用1.0ミリ	1860	1840	モリブデン酸化物	2210	〃 その他
〃 バネ用0.3ミリ	2080	2050	タンタル	58345	フェロシリコン55%以上
リン青銅棒25ミリ	2120	2130	マグネシウム	258	フェロクロム4%以上炭素含有
リン青銅線3ミリ	2280	2260	コバルト	10264	フェロモリブデン純分60%以上
洋白板一般用1.0ミリ	2730	2680	インジウム	34161	フェロバナジウム
〃 バネ用1.0ミリ	2920	2880	減摩合金		
8月1日改定		銅合金地金		8月1日発表	
(500kg以上、大口価格)		(標準価格)		大阪	東京
1種	2725	BC 1種	795	—	
2種	2650	2種	965	—	
3種	2575	3種	1010	—	
4種	2275	6種	855	—	
5種	2195	7種	885	—	
7種	895	YBSC 3種	705	—	
8種	805	LBC 3種	975	—	
9種	725	PBC 2種	1030	—	

合金鉄	6月輸入単価(CIF)
フェロマンガ2%以上炭素含有	144
〃 その他	174
フェロシリコン55%以上	164
フェロクロム4%以上炭素含有	154.8
フェロモリブデン純分60%以上	2038
フェロバナジウム	5764
フェロニッケル33%未満	404.5
電気亜鉛メッキ銅板冷延1ミリ	326

